

会社説明会

メディアスホールディングス株式会社

2025. 8. 25

東P: 3154



- 1 登壇者紹介
- 2 企業概要
- 3 業界を取り巻く環境
- 4 業績の状況
- 5 今後の成長戦略
- 6 資本コストと株式に関する情報
- 7 社会貢献活動





宮地 修平

メディアスホールディングス株式会社
取締役専務執行役員 プレジデント統括本部長

兼任
株式会社ミタス
代表取締役社長

経歴

- 1998年 東芝メディカルシステムズ
(現:キヤノンメディカルシステムズ)入社
- 2006年 福井医療(現:ミタス)専務取締役就任
- 2009年 同社代表取締役社長(現任)
- 2017年 メディアスホールディングス 取締役(現任)就任



医療機器、技術、サービスの提供によってお客様のニーズとハートを満たす

設 立	昭和24年5月
所 在 地	福井県福井市問屋町4丁目901
資 本 金	6,000万円
代 表 者	宮地 修平
従 業 員 数	208人(2025年6月末時点)
事 業 内 容	医療機器販売・理化学機器販売・病院設備機器販売・試薬、衛生材料販売 医療用配管工事設計施工・X線防護工事設計施工・手術室内装工事設計施工

- | | | |
|-------|-----------|---|
| 1947年 | (昭和22年) | 福井医療電機商会創業 |
| 1949年 | (昭和24年) | 福井医療株式会社設立 |
| 1966年 | (昭和41年) | 金沢営業所を金沢市金石に開設 |
| 1987年 | (昭和62年) | 安心堂北陸メディカルを開設 |
| 1990年 | (平成2年) | 嶺南営業所を開設 |
| 2005年 | (平成17年) | 福井市問屋町に新社屋を新築 |
| 2012年 | (平成24年) | 石川医療器株式会社(本社:金沢市)の株式を100%取得 |
| 2013年 | (平成25年) | 嶺南営業所を敦賀市呉竹町に移転し敦賀支店に改称
ディーセンス株式会社を設立しインターベンション部門を移管 |
| 2014年 | (平成26年) | メディアスホールディングス株式会社と業務資本提携 |
| 2015年 | (平成27年) | 北陸メディカルから富山営業所を譲り受け富山支店を開設 |
| 2016年 | (平成28年) | 金沢支店を金沢市直江町に新築移転 |
| 2017年 | (平成29年) | 本社営業部に福井支店を開設 |
| 2018年 | (平成30年) | メディアスグループにグループイン |
| 2024年 | (令和6年) | 敦賀支店を敦賀市木崎に新築移転 |

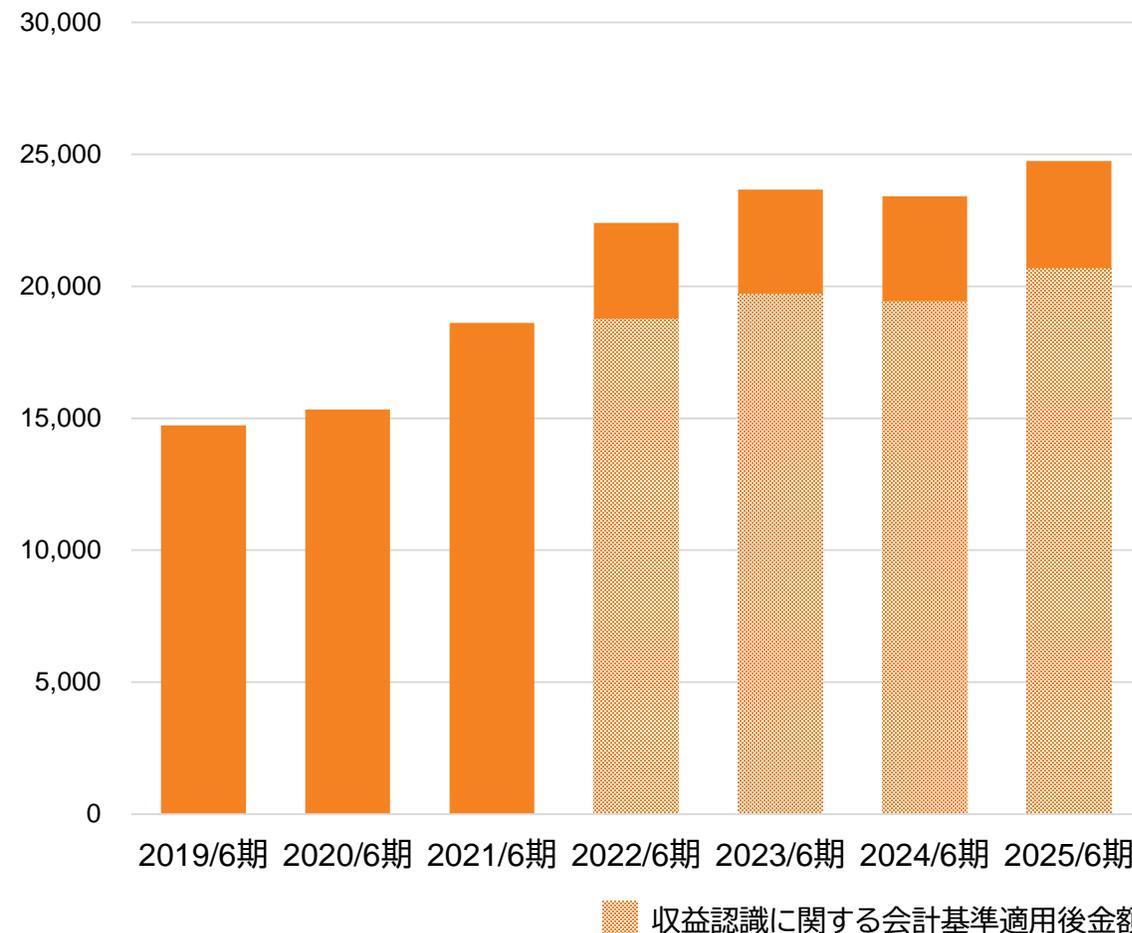


創業当時の福井の街並み

拠点

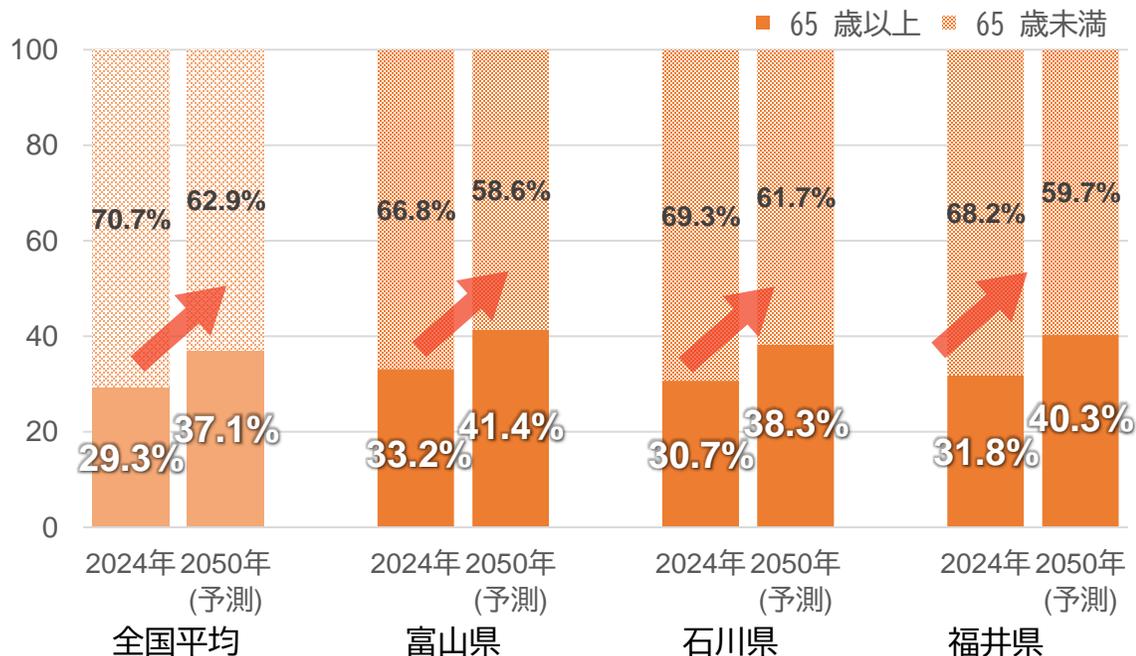


売上高推移



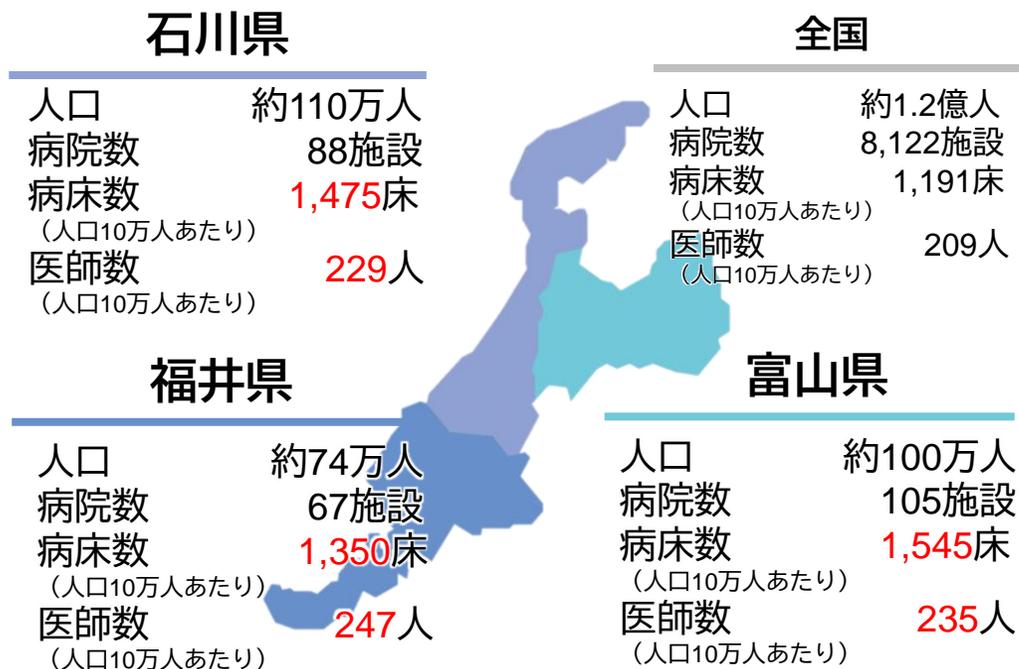
- ✓ 全国的に見ても医療資源が充実しており、医療提供体制が安定
- ✓ 北陸地域の自治体が実施する健康教育や健康相談、がん検診などの取り組み件数がほかの地域と比較して高い
- ✓ 地域の高齢化に対応するため、在宅医療・介護との連携を強化
- ✓ 地域医療構想に基づき、急性期・回復期・慢性期の機能分化が進められており、高齢化社会に対応した包括的な医療体制の構築が進行中

北陸の高齢化率



出典:内閣府 令和7年版高齢社会白書「地域別に見た高齢化」

医療施設調査情報比較



出典:厚生労働省 令和5年医療施設(静態・動態)調査



国内有数の医療環境サプライヤーとしての
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼
それが私たちの強みです

グループ会社数

17



医療機器販売

医療機器総合商社

株式会社アクティブメディカル
ノアインターナショナル株式会社
株式会社秋田医科器械店
株式会社栗原医療器械店
マコト医科精機株式会社
協和医科器械株式会社
株式会社ミタス
佐野器械株式会社

循環器専門商社

株式会社アルパース
株式会社アルセント

整形外科専門商社

株式会社オーソエッジジャパン

介護福祉機器専門商社

石川医療器株式会社

ソリューションサービス

メディアスソリューション株式会社

修理・保守

株式会社つむぐメディカル

商品調達

ミウル・ヘルスケア株式会社

メーカー代行

株式会社レップス

物流

メディリスロジ株式会社

企業概要



事業内容： 医療機器販売事業等を行うグループ会社の経営管理
及びそれに付帯する業務

設立

2009年7月

(2010年現社名へ商号変更)

資本金

13.8億円

(2025年6月末現在)

従業員

3,563名

※グループ計 2025年6月末時点
※臨時従業員含む

決算期

6月末

代表者

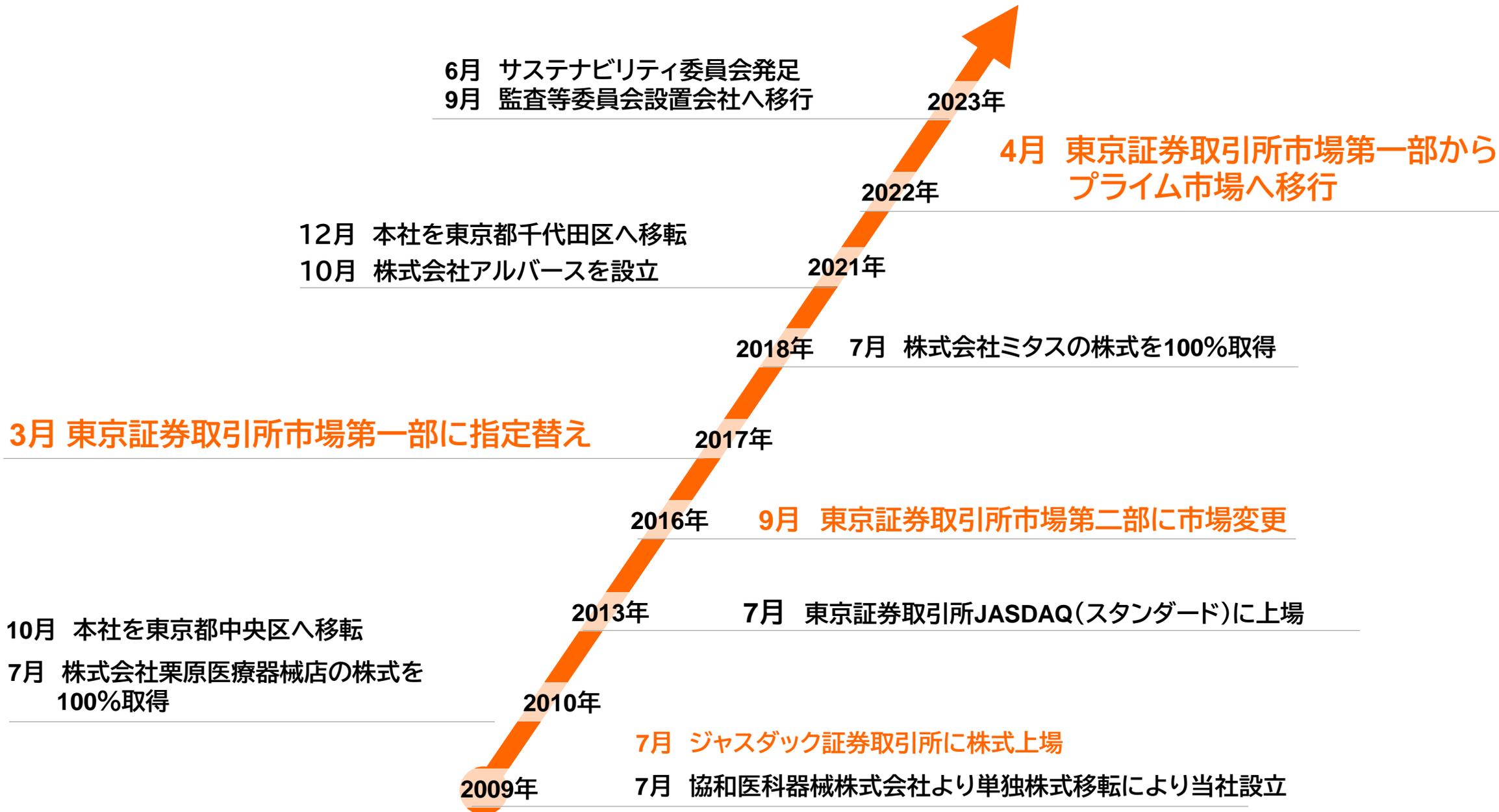
代表取締役社長

池谷 保彦



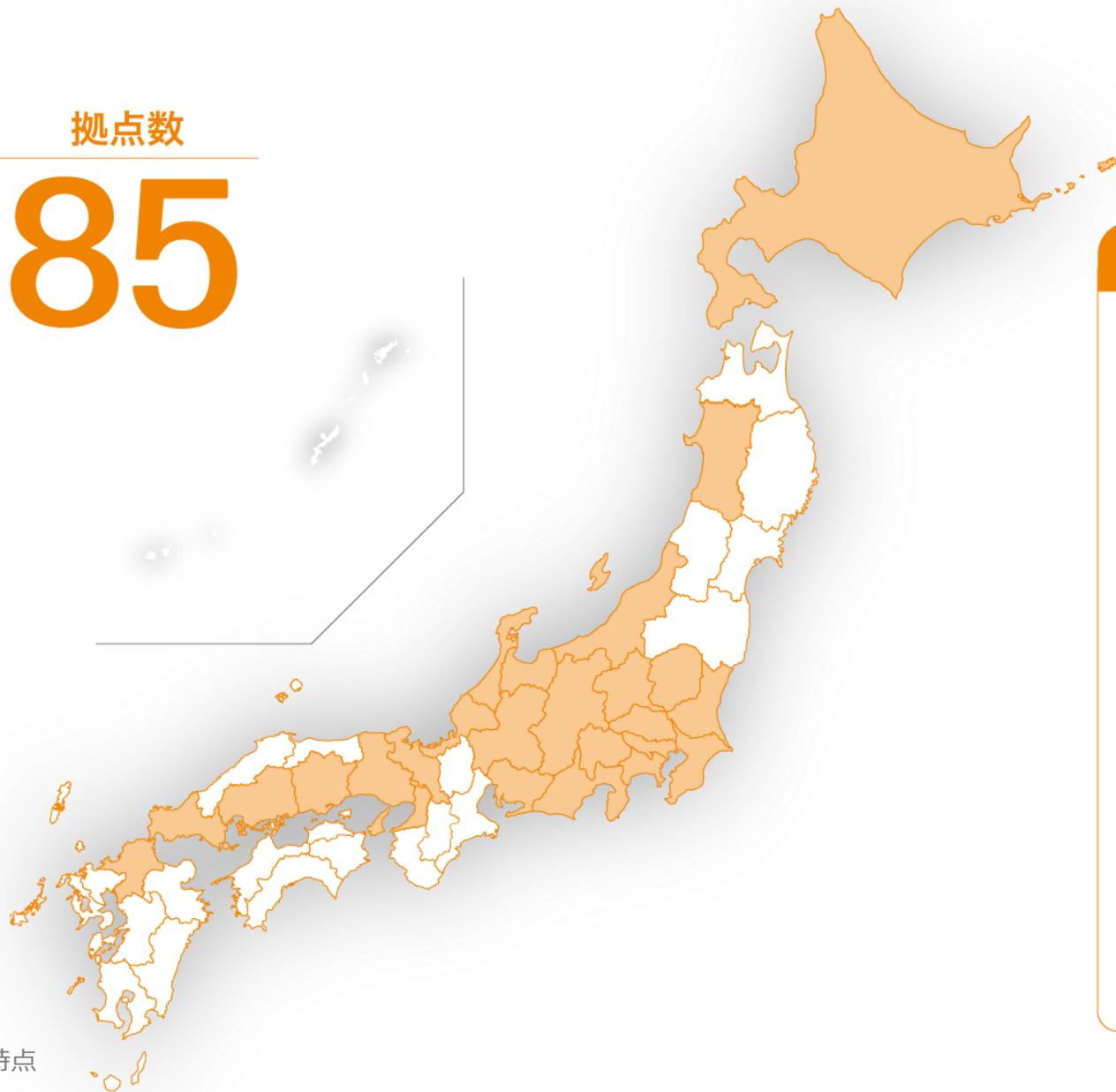
所在地

東京都千代田区有楽町
一丁目2番2号
東宝日比谷ビル



拠点数

85



都道府県別拠点数

北海道	7	愛知県	7
秋田県	3	岐阜県	1
群馬県	5	富山県	1
栃木県	1	石川県	1
茨城県	2	福井県	4
千葉県	4	大阪府	3
埼玉県	5	京都府	1
東京都	10	兵庫県	2
神奈川県	6	岡山県	1
山梨県	2	広島県	1
長野県	2	山口県	1
新潟県	2	福岡県	2
静岡県	11		

2025年6月末時点

医療機器販売事業

国内外の医療機器メーカー等から仕入れた医療機器を医療施設に販売、修理及びメンテナンスを行う。販売に付随して、医療材料の購買・在庫管理システムを医療施設、医療材料ディーラー、SPD事業者を提供。

先端医療機器



消耗品



※SPD: Supply Processing & Distributionの略。病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステム

介護福祉事業

国内外の医療機器メーカー等から仕入れた介護福祉用具を施設や個人へ販売及びレンタル。

介護福祉用具のレンタル

- 介護ベッド、車椅子、シルバーカー、杖、介護衣類、リハビリシューズ、衛生材料等

介護保険の福祉用具貸与対象品目一例



特殊寝台
および付属品

床ずれ
防止用具

車いすおよび
付属品

歩行器

歩行補助杖

画像：厚労省ホームページ 福祉用具貸与より

介護福祉用具の販売

- 介護福祉用具
介護ベッド／車椅子等
- ストーマ製品



《医療機器メーカー売上高》

社名	国名	決算期	売上高
メドトロニック	アイルランド	2025/4	4兆9,970億円
ジョンソンエンドジョンソン	アメリカ	2024/12	4兆7,467億円
アボット	アメリカ	2024/12	4兆2,207億円
テルモ	日本	2025/3	1兆362億円
富士フイルム	日本	2025/3	1兆226億円
オリンパス	日本	2025/3	9,968億円

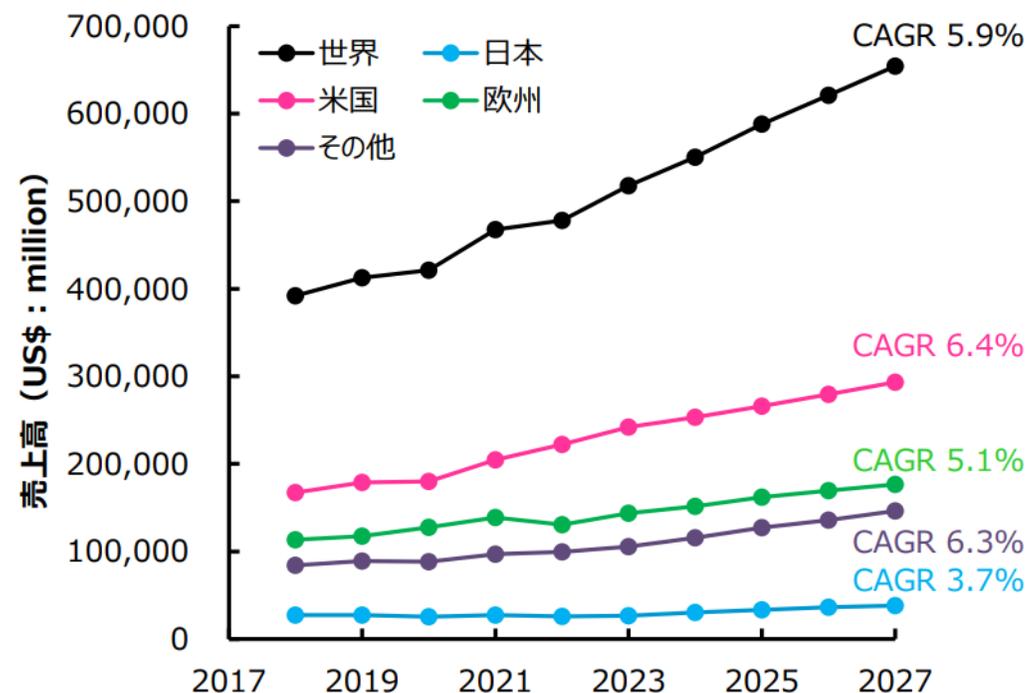
(出典)各社HPより引用

※世界の医療機器メーカー売上高については、米ドル表示を\$1:¥146/ユーロ表示を€1:¥172で算出



- 医療機器の世界の売上高上位は海外メーカーが占めている。当社売上の6割以上が海外メーカー製品である。
- 医療機器市場は非常に細分化されたマーケットという特徴をもっており、当社の取扱い品目数は100万点以上。

《医療機器市場の市場規模推移とCAGR》 2018年～2027年

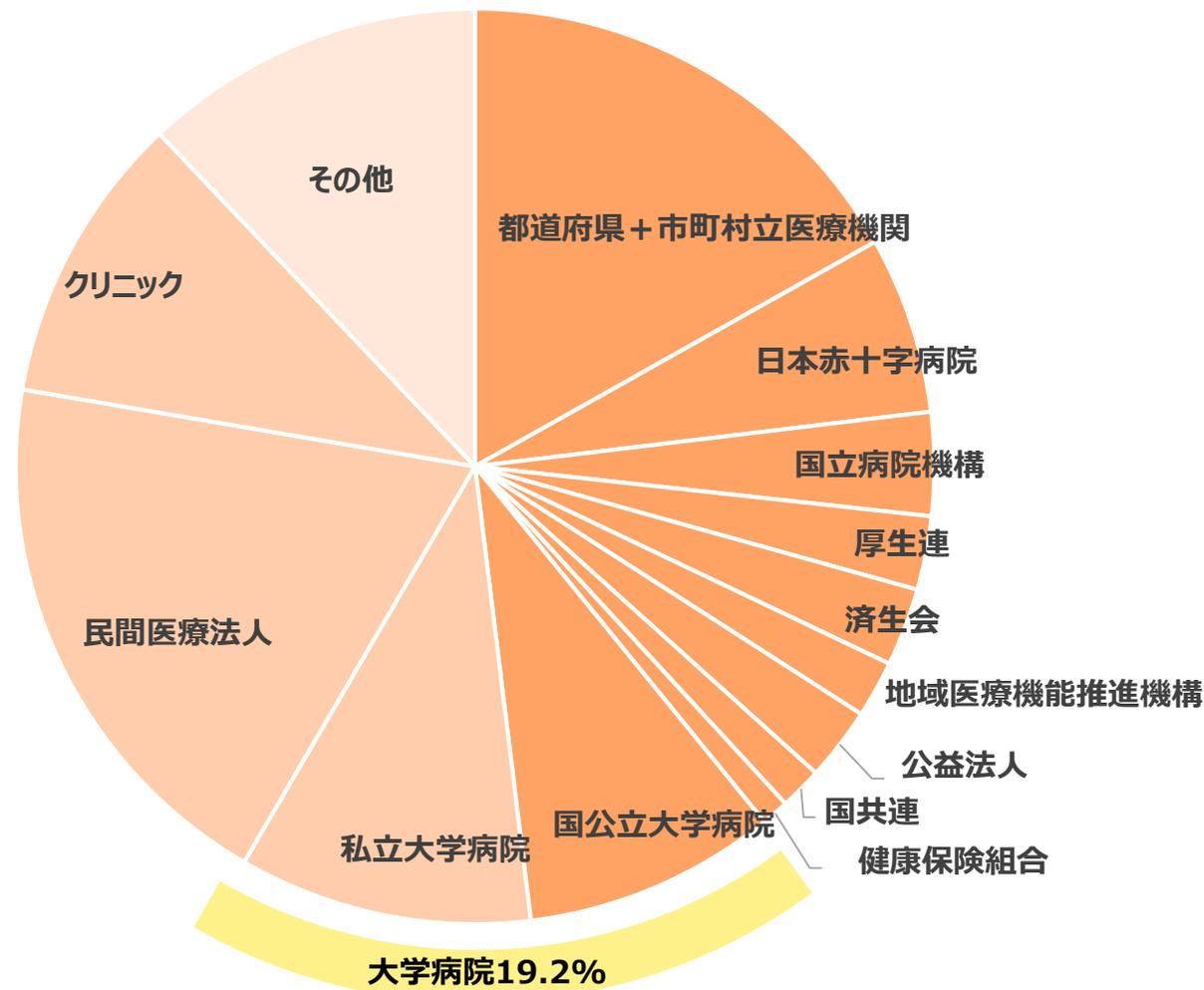


(出典)経済産業省:医療機器産業ビジョン 2024より抜粋

米国が6.4%、欧州5.1%、その他の地域は6.3%の伸びが見込まれているが、国内の医療機器市場のCAGRは3.7%と他の地域と比較してその伸びは大きくない。

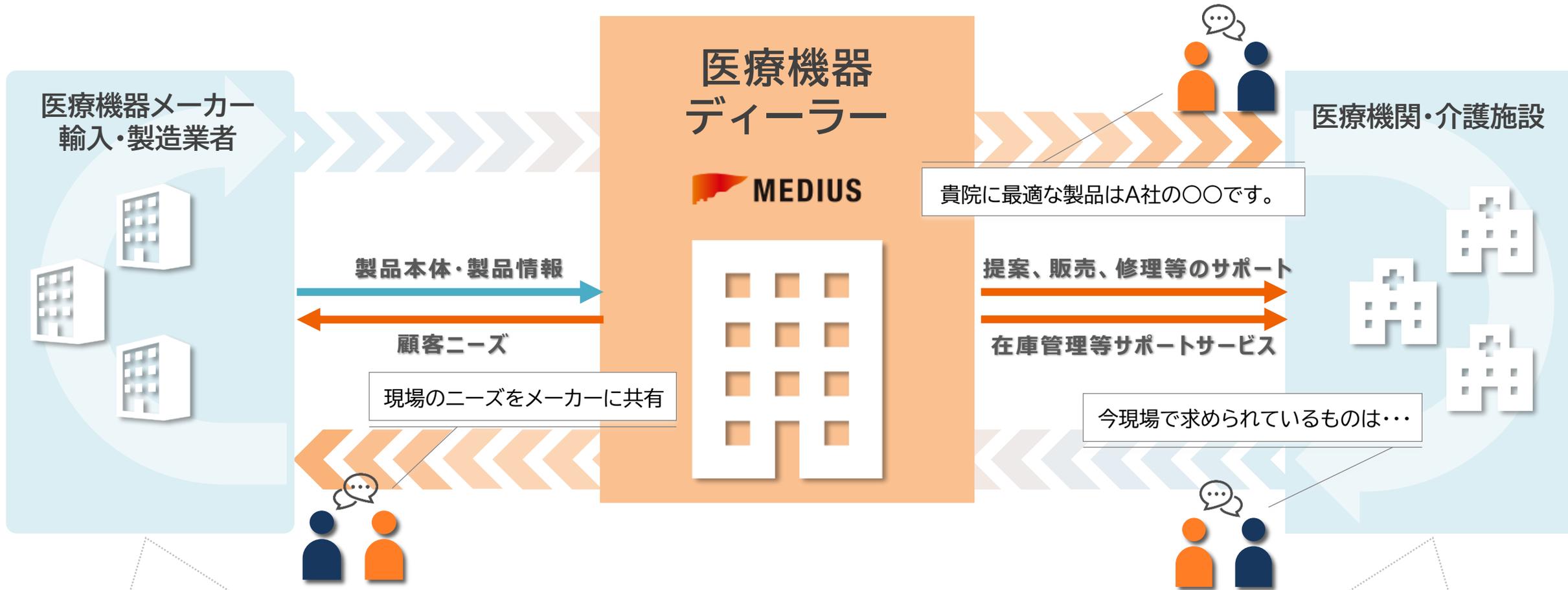
▶ 【販売】 当社グループ医療機器売上高 顧客セグメント

公的医療機関	都道府県 + 市町村立医療機関	16.8%	48.1%
	日本赤十字病院	6.3%	
	国立病院機構	3.7%	
	厚生連	2.6%	
	済生会	2.8%	
	地域医療機能推進機構	2.0%	
	公益法人	2.6%	
	国共連	1.5%	
	健康保険組合	1.0%	
	国立大学病院	8.9%	
民間医療機関	私立大学病院	10.3%	39.9%
	民間医療法人	19.3%	
	クリニック	10.3%	
その他	その他	12.1%	12.1%



2025年6月期
 ※代理店取引先の顧客病院も含む

▶ 医療機器卸業界の商流（医療機器商社が果たす役割）



- 商社を通すことで、多くの医療機関と効率的にやり取りすることができる
- 商社が地域ごとに持っている豊富な販売網を活用し、多くの医療機関に効率よくアクセスできる
- 販売、メーカーサポート、問合せ対応、顧客情報管理など、個々の医療機関との詳細なやり取りを商社と分担できる

メリット

- 商社を通すことで、メーカーサポートに加え、商社の独自サービスも受けられる
- 商社で取り扱っている複数メーカーの製品を、比較した上で購入できる
- 購入製品のメーカーにかかわらず、商社独自の運営サービスを受けられ、医療行為に専念しやすくなる

▶ 当社グループのトータルソリューション

医療機関では、医師の働き方改革への対応や医療費抑制政策による収入の減少、光熱費や人件費等の高騰など経営課題がますます深刻なものとなっています。

メディアグループは、より良い医療環境の構築をめざす医療機関に必要な複数のソリューションツールを提供することで医療や介護の現場を多方面からサポートし、信頼を獲得しています。



ASOURCE DATABASE

メディアスホールディングスが独自に構築した日本最大級の医療材料データベース。メディアスグループのソリューションツールの基盤であり、高い網羅性と信頼性、即時性で情報収集と業務効率の改善に貢献。

→社内業務

同業社からも評価を受け、アライアンスのきっかけとなりうる。

→販路・事業拡大

Meccul 分析サービス

きわめて特殊な医療材料市場において、個々の医療機関の購買状況を多角的に分析し問題点を見つけ、購買マネジメントをサポートする。

約2,000病院分の医療材料価格データを集約し、そのデータをもとに、自院の購買データを他院や平均値と比較して見ることで、市場における価格の適正度をつかむことができ、価格交渉や適正な商品の選択に繋げる。

→医療現場の業務と経営の効率化を支援

SPD

SPD(Supply:供給、Processing:加工、Distribution:分配)米国生まれの病院内での物流管理効率化策。

従来型SPDの物流管理効率化に加え、医療材料の適切な選択や妥当な購入価格の設定などに貢献。

→医療現場の業務と経営の効率化を支援

ASOURCE STORE

中小規模病院向けの簡易SPDサービス。

医療材料を適切に管理し、消費状況を把握して必要な医療材料を一括供給。看護師の物品管理業務にかかる時間や、不良在庫・使用期限切れなどのムダをカット。それらをデータ化して可視化することにより、発注数の推移の把握も可能に。

→医療現場の業務と経営の効率化を支援

SURGELANE

病院経営の要となる手術室の収支を“見える化”。間接業務の効率化と手術収益の向上で、病院全体の収支改善へ。

手術に使用する医療材料の管理や準備など病院内における間接業務の効率化を支援し、さらには手術室の稼働や収支の状況などの“見える化”、改善を促す。2つの機能を兼ね備えた手術室運営支援サービス。

→医療現場の業務と経営の効率化を支援

業界を取り巻く環境



▶ 人口推移と医療・介護費の将来見通し

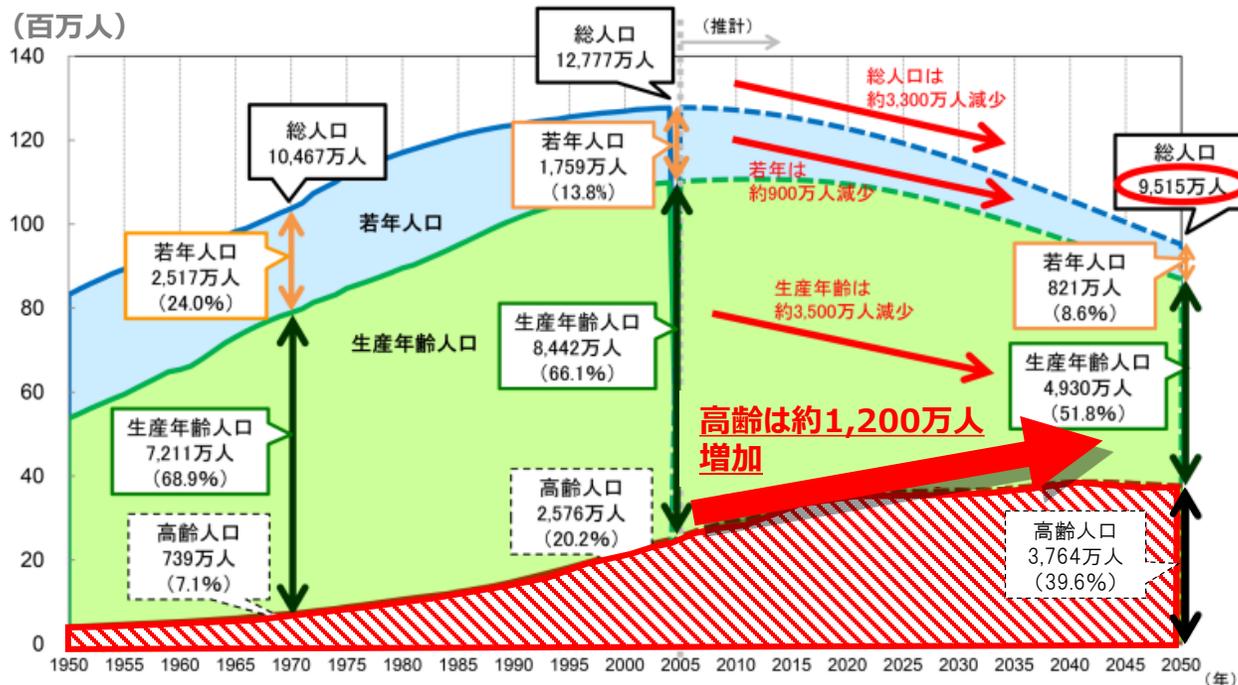
人口推移

- ▶ 「2025年」問題 団塊世代が後期高齢者となる75歳を迎える。総人口は減少傾向だが、高齢人口は増加傾向が続く。
- ▶ 高齢化率も2005年20%、2015年27%、2025年30%、2040年35%になる見通し。

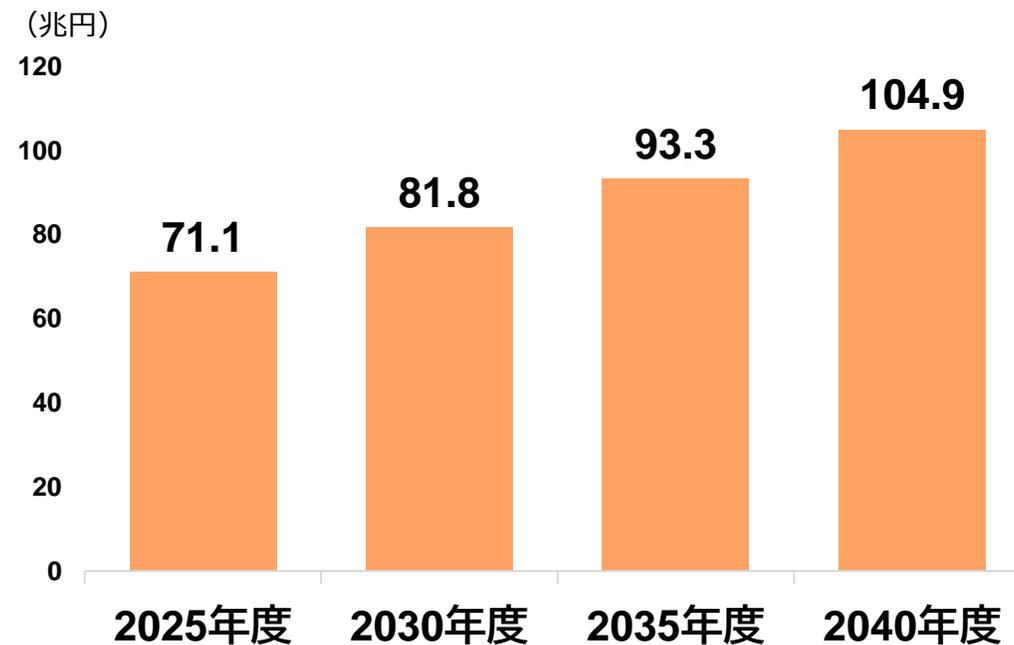
医療・介護費の将来見通し

- ▶ 高齢化に伴い、医療・介護費は増加する見込み。

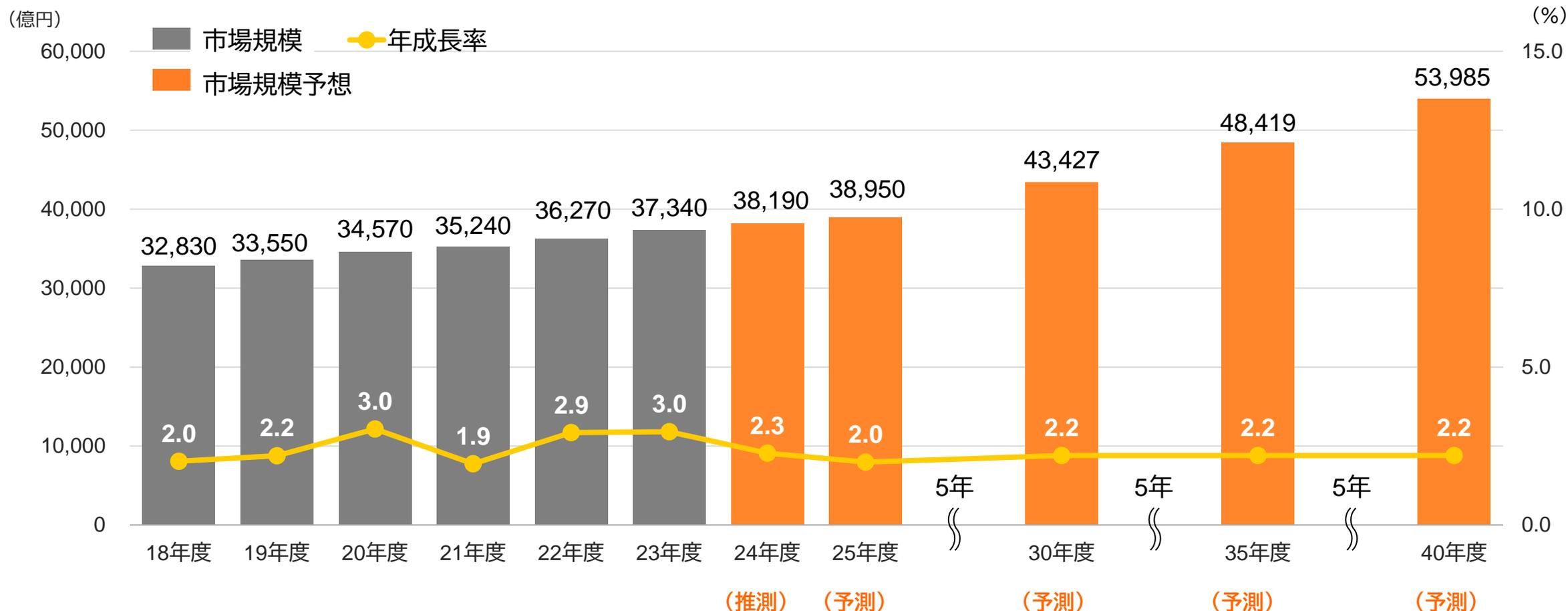
人口推移



医療・介護費の将来見通し

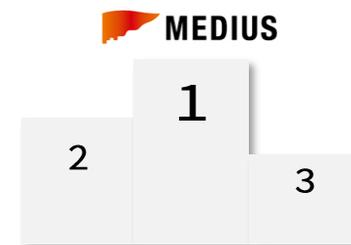


※内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」を基に作成。
 ※地域医療構想、医療費適正化計画、介護保険事業計画を基礎とした厚生労働省「計画ベース」の中間値を見通し値とした。

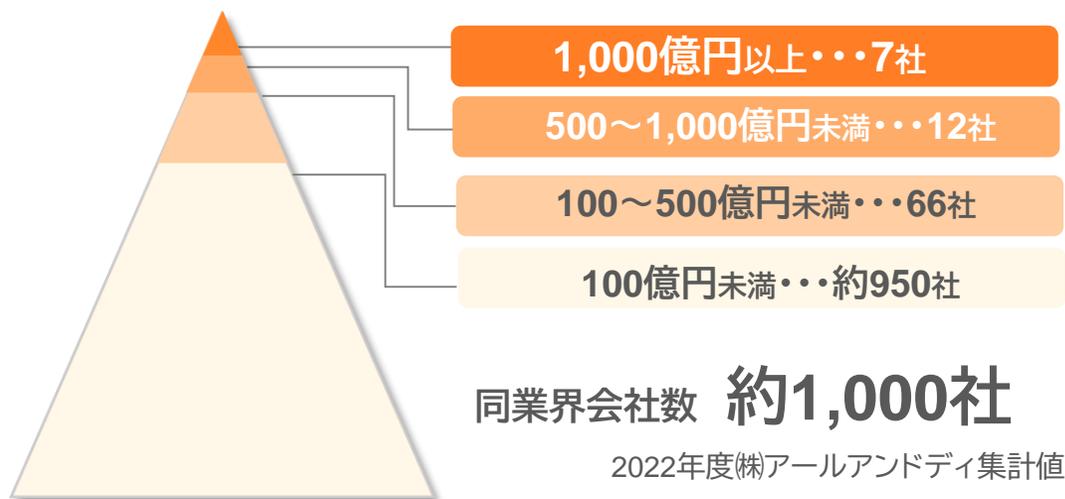


※出所:2025年(予測)までは株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑2025年版 市場分析編」
 2030年以降は公益財団法人医療機器センター附属 MDSI医療機器産業研究所「2025年及び2040年の医療機器市場の推計値から今後の産業を考える」の
 市場成長率予測より算定。

医療機器卸売販売額(連結) 国内1位

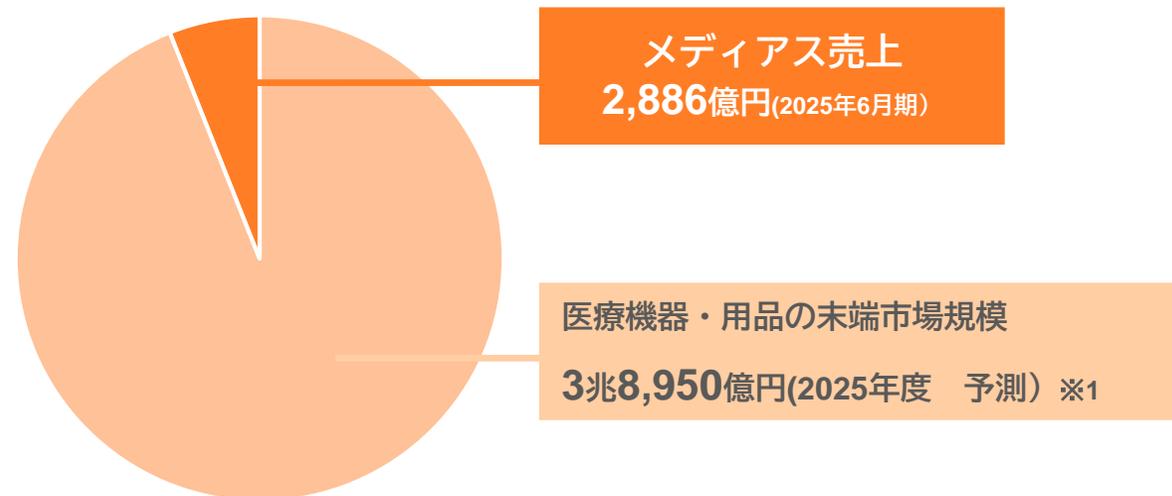


医療機器商社数



出典:医療機器・用品年鑑2024年版市場分析編(株)オールアンドディ

医療機器の末端市場規模



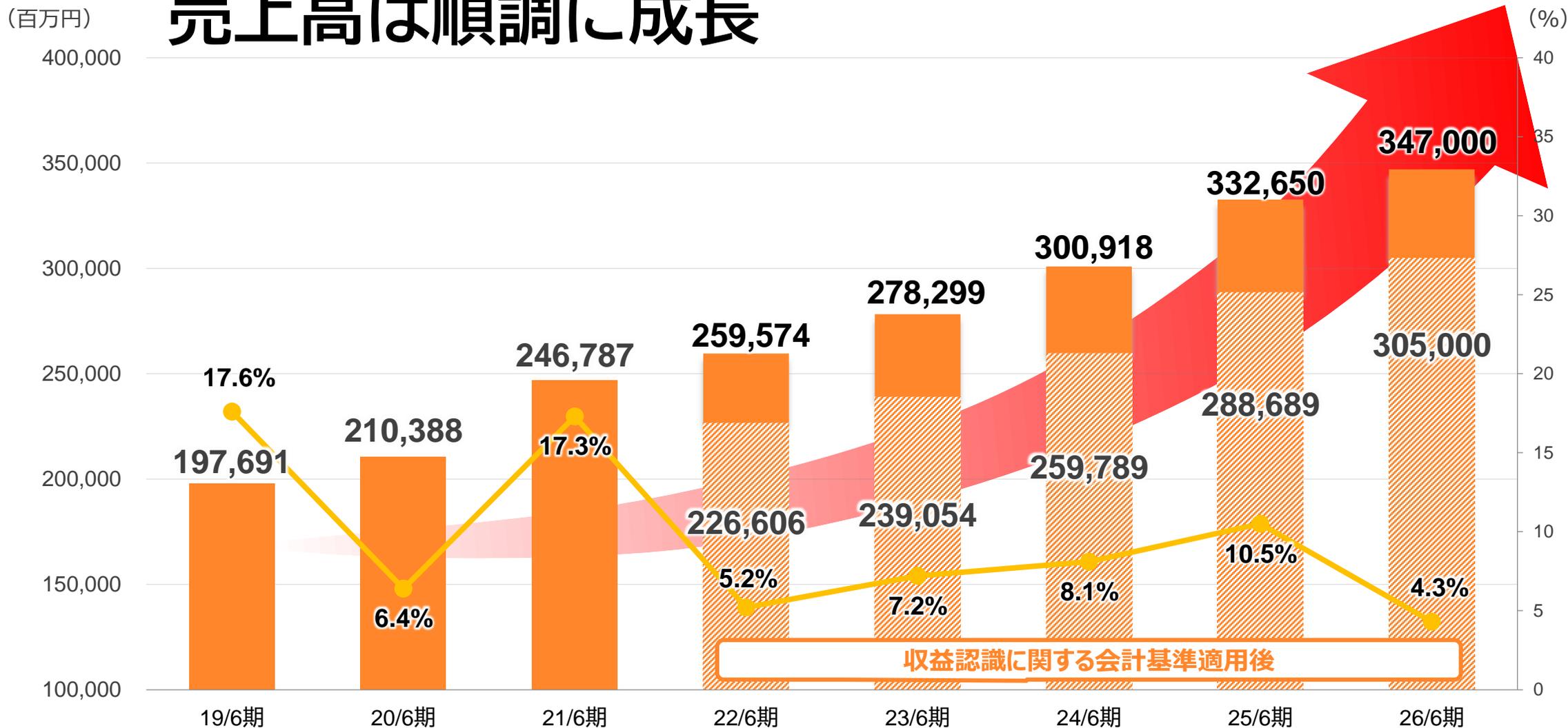
※1 医療機器・用品年鑑2025年版市場分析編(株)オールアンドディ

➡ M&Aを中心にまだまだシェアアップの余地がある

業績の状況



売上高は順調に成長



■ :グラフの数値については、過年度の実績との比較可能性から「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

(予想)

— :成長率(収益認識の変更前で比較)

(百万円、%)

項目	24/6期 (実績)	25/6期 (実績)		前期比	
	金額	金額	百分比	増減額	比
売上高	259,789	288,689	100.0	28,900	111.1
医療機器販売事業	253,996	282,688	97.9	28,691	111.3
介護・福祉事業	5,792	6,001	2.1	209	103.6
営業利益	1,327	1,875	0.6	548	141.3
経常利益	1,750	2,422	0.8	671	138.4
当期純利益	1,124	1,375	0.5	250	122.3
1株あたり当期純利益(円)	51.21	61.91	-	-	-

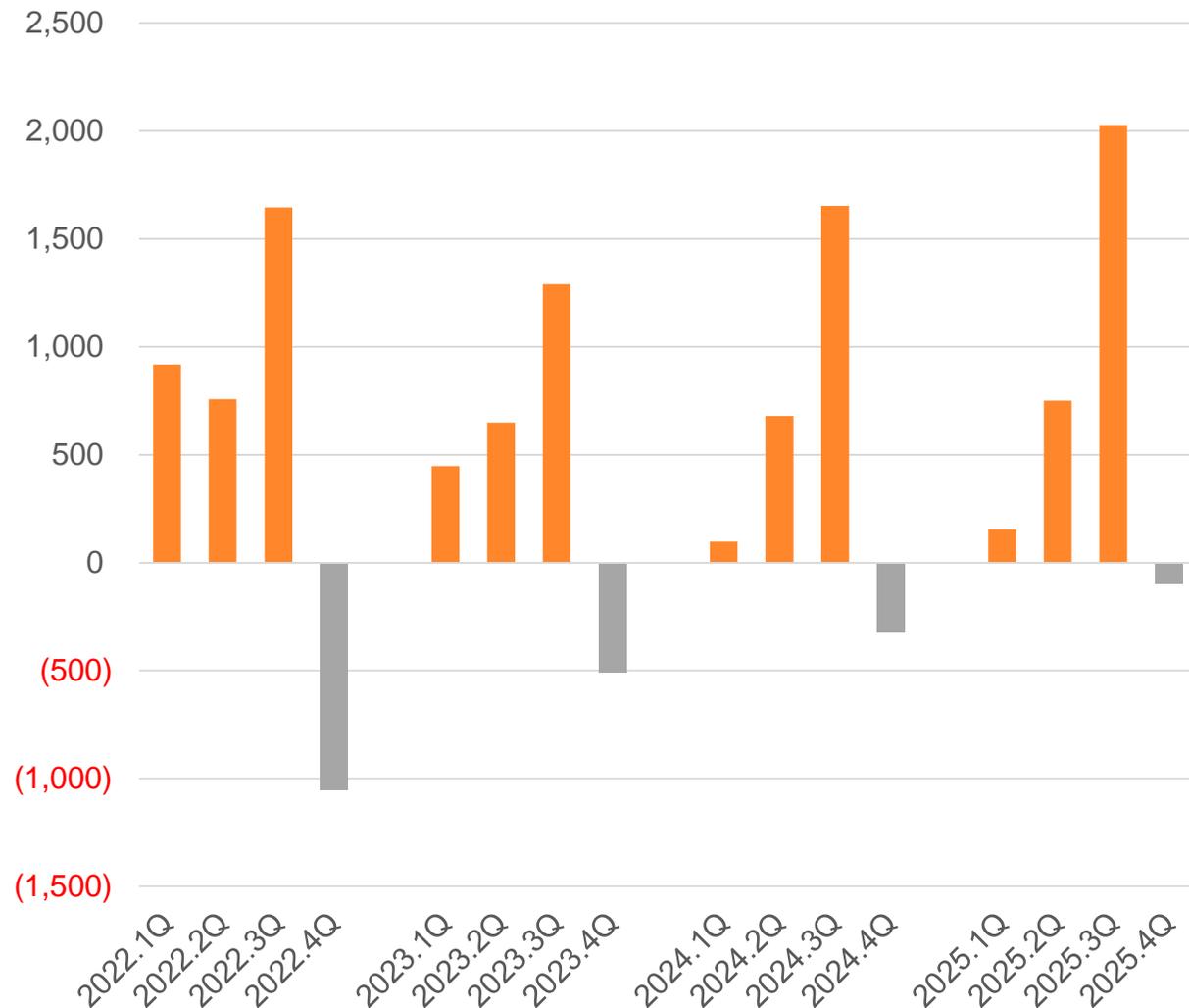
※表示単位以下は切り捨てています。

(百万円)

項目	25/6期	26/6期	
	通期	通期 (計画)	前期比
売上高	288,689	305,000	105.6%
営業利益	1,875	1,750	93.3%
経常利益	2,422	2,300	94.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,375	1,300	94.5%
売上高営業利益率	0.6%	0.6%	-

※表示単位以下は切り捨てています。

《四半期ごと営業利益推移》



季節性の要因

《3Q：1-3月》

- ・ 医療機関の年度末にあたるため備品の購入が集中し、売上高を押し上げる。

《4Q：4-6月》

- ・ 3Qの反動減で売上高が低下する。
- ・ 増員により人件費が増加する。
- ・ 償還価格の改定に伴う販売価格の下落。
- ・ 減損処理が発生する場合がある。

《4Q～1Q：4-9月》

- ・ 温かい時期は、比較的患者が減る傾向がある。

今後の成長戦略



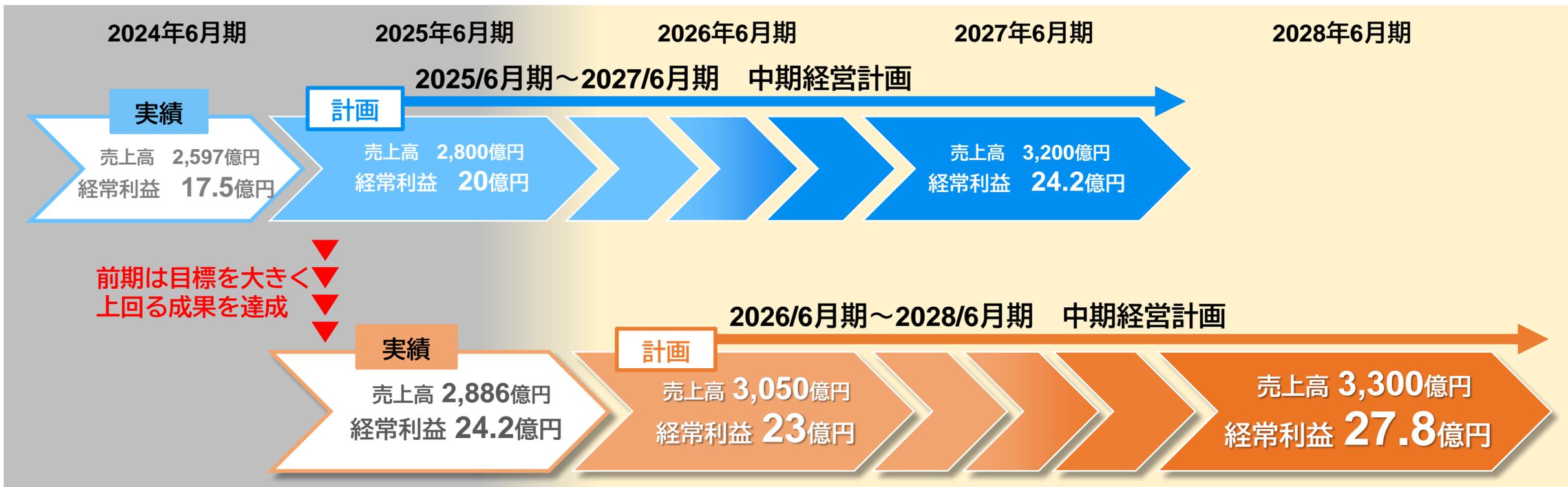
既存事業の強化 >>> 経常利益 年率10%UP

+ M&Aによる規模拡大をめざす

経常利益を指標とし、収益向上に向けた改善に取り組み、既存事業を強化。

一方で、M&Aによる規模拡大は継続する。

事業効率性向上のため新しいビジネスモデルを創出し、さらなる成長をめざす。



当社グループの価値提供の最大化に向けた取組み

- 1 今までに培ったノウハウと情報ネットワークの活用
- 2 各種ソリューションツールの提供
- 3 急性期医療を提供する医療機関への営業強化
- 4 低侵襲手術分野への注力
- 5 プライベートブランド商品の製品拡充
- 6 各地域におけるBCP対応が可能な体制を構築

▶ 良質かつ持続可能な医療材料・医療環境を提供

- ✓ 継続的にM & A及びアライアンスを推進
- ✓ グループ経営管理体制の強化

- 1 委員会等の組織横断的な取組み
- 2 人事交流を通じてグループ内の連携を強化
- 3 IT・物流等の業務インフラの整備
- 4 管理業務の集約による効率化
- 5 働き方改革に向けた業務環境の改善
- 6 PMI(M & A後の統合プロセス)の推進

▶ 生産性向上やシナジーの早期発現による収益性の向上



物流

メディリスロジ株式会社

2025年7月

グループがこれまで培ってきた医療機器の物流ノウハウを集約し、物流機能に特化した専門会社として分社化しました。

より高度な専門性と柔軟性を備えた物流体制の構築をめざすとともに、安全かつ迅速な医療提供体制を実現し、医療現場に貢献してまいります。



商品調達

ミウル・ヘルスケア株式会社

2025年7月

当社の製品開発部門を分社化しました。これまでに培った、海外メーカーからの直接買い付けによる調達スキームと、ニーズを反映した迅速な商品開発力を生かし、グループのプライベートブランド戦略を強化。利益の最大化に貢献します。

医療機器及び医療用消耗品の企画から調達・販売までを一貫して担うファブレスメーカー体制の構築をめざします。



メーカー代行

株式会社レップス

2025年7月

栗原医療器械店のコントラクト事業を分社化しました。メディカルセールスのプロフェッショナルとしての知見を生かし、医療サプライチェーンにおける新たなエコシステムの構築をめざします。

メーカーのプロダクトに合わせた独自のパートナーディーラー体制を構築し、全国の販売活動を支援します。



A+north
Medical Inc.

北海道全域の医療に貢献

エーノースメディカル設立

2025年10月（予定）

2020年と2022年にそれぞれグループインしたアクティブメディカルとその子会社ノアインターナショナルを統合し、「エーノースメディカル株式会社」を設立いたします。両社はこれまで、保有するノウハウの共有を通じて営業力の強化に取り組んでまいりました。

今回の統合により、経営資源を結集し、北海道全域をカバーする強固なネットワークと営業体制を構築いたします。医療材料を迅速かつ安定的にお届けできる体制を整え、医療現場を支えるパートナーとしてより一層の貢献をめざしてまいります。

meccul Database

医療現場を支える情報基盤の全国統一をめざして

メッカルデータベース、一部無償化へ

2025年3月

医療材料データベースサービス「メッカル」の有料版において一部機能を無料にて提供開始しました。物流や償還価格の下落など、業界が抱える課題に対し、同業者の業務効率化を支援することで、医療流通全体の底上げを図ることを目的としています。

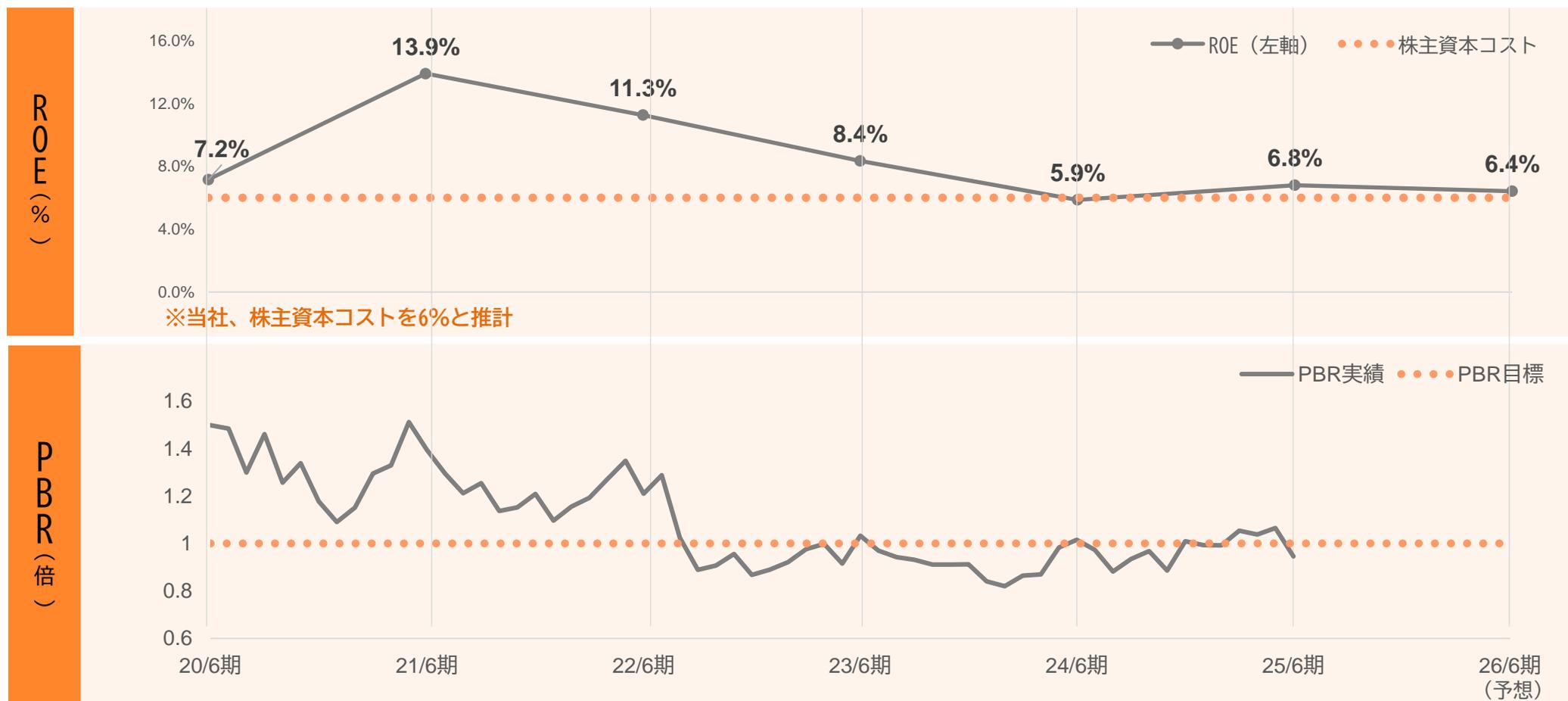
有料版は、定価や償還価格の履歴などの情報が日々更新されますが、無料版は月に一度、情報提供時点での全件データをダウンロードできるサービスです。企業ごとのカスタマイズが可能な有料版サービスは今後も継続し、より高度なデータ活用を通じて医療現場の支援を強化してまいります。

資本コストと 株式に関する情報



▶ 資本コストや株価を意識した経営：現状分析

- ◆ 当社の株主資本コストは、CAPMベースで6%と認識。
- ◆ ROEは、2021年6月期をピークに低下傾向であるが、株主資本コストを上回る水準を維持。中期的には6~7%台で推移すると予測しているが、長期的には利益成長によって8%以上をめざす。
- ◆ PBRは、2022年6月期以降、株価下落に伴い1倍前後で推移している。今後は各種施策による利益成長及び対外発信の強化により市場評価の向上をめざす。



ROE
中期6%
長期8%以上

収益性の改善

- ◆ 既存事業の構造改革と強化
- ◆ 新規領域における事業育成

粗利成長

- ◆ 営業採算性の向上
- ◆ PB製品の取り扱い拡充
- ◆ 新規領域へのビジネス拡大

販管費の抑制

- ◆ 業務効率化による生産性の向上

経営資源配分の最適化

- ◆ 注力分野及び人材への積極投資
- ◆ 効果的な人材配置

バランスシートの最適化

- ◆ 自己資本の一定水準での維持
- ◆ 資本構成の最適化

資本効率の向上

- ◆ CCCの改善(棚卸資産の圧縮、営業債権・債務の適正化)

投資
M&A及びアライアンス

- ◆ 成長投資案件への選択と集中

株主還元の強化

- ◆ 配当性向30%以上

配当性向

中・長期にわたる安定的な成長を維持するために必要な内部留保を確保しつつ、その成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針とし、連結での配当性向30%以上を目途に配当を行うこととしております。

	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期	25/6期	26/6期 (予想)
1株あたりの配当金 (期初予想)	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	19.0	20.0
1株あたりの配当金	14.0	14.0	21.0	19.0	22.0	21.0	20.0	—
連結配当性向(%)	—	32.1	22.1	22.3	32.2	41.0	32.3	34.2

《25/6期配当について》

業績の修正等の状況を勘案し、期初予想から1円増配し、1株当たり20円へ修正させていただきます。

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有いただけるよう、株主優待制度を実施しております。

基準日（6月末日）時点で1単元（100株）以上保有されている株主様を対象とさせていただきます。今後も、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

保有株式数	基準日	継続保有期間	内容
100株以上	毎年 6月30日	定め無し	1,000円相当 QUOカード または社会貢献（国境なき医師団への寄付）
500株以上	毎年 6月30日	定め無し	6,000円相当 QUOカード または社会貢献（国境なき医師団への寄付）



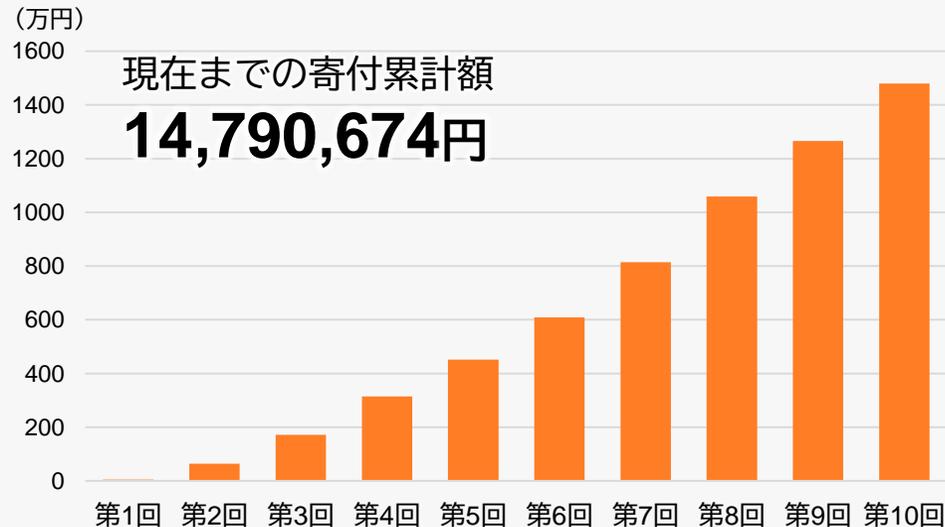
栄養失調の子どもをケアする国境なき医師団の医師(ナイジェリア/2022年)
© Nasir Ghafoor/MSF

※毎年6月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。(年1回)

国連WFP「レッドカップキャンペーン」寄付

学校給食支援を通じて、学校に通えない子どもたちの栄養状態を改善し、就学の機会をつくり、勉学の意欲を高めて未来につなぐ取組み。賛同する企業が対象商品にレッドカップマークを付けて販売し、売上の一部を寄付するキャンペーン。

- ✓ 2023年4月より、プライベートブランドの売上の一部を寄付。



「国境なき医師団」へのマッチングギフト

従業員から任意で寄付を募り、会社が同額を上乗せし総額を寄付するマッチングギフトを実施。株主優待の選択肢にも追加し、寄付の意思を表明された株主様への優待相当額に、当社が同額を上乗せして寄付しています。

- ✓ 2023年1月より従業員からの寄付の受付を開始し2025年6月末までで、**合計4,895,000円**を寄付しました。
- ✓ 2024年度6月末を基準とした株主優待では、社会貢献をお選びになった株主様の寄付額に、会社として同額を上乗せし、**合計176,000円**を寄付しました。



地域のより良い医療環境の実現に向けたイベントを開催



静岡県内で、医療現場で働く人たちと対話し、本物の医療技術に触れる機会を提供する「メディメッセージ」を年1回開催しています。地域医療の担い手づくりへの貢献を目的とし、手術室を再現して実演する企画のほか本物の医療機器を使った体験や現役医師のトークライブなどを実施。2007年より開催しており、親子連れを中心に多くの方にご来場いただいています。



次回開催予告

日時：2025年11月15日(土)16日(日)
場所：キラメッセ沼津

ホームゲームでのゴミ拾いで美化応援



太田市、群馬クレインサンダーズとパートナーシップを結び、「おおた健康促進39プロジェクト」を立ち上げました。クレインサンダーズのホームゲームに合わせて、駅からアリーナまでのゴミ拾いウォーキングイベントを定期的で開催しています。この活動は、地元チームを応援しながら、参加者の健康増進と地域の美化に貢献することを目的としています。

プロバスケットボールチームに協賛



2024年より「福井の人々の背中を押す存在になる」というビジョンを掲げるプロバスケットボールBリーグ（B2）の福井ブルーウィンズとオフィシャルパートナー契約を結び、チームの運営をサポートしています。選手たちが巻き起こす旋風で変わっていく福井県を、地域医療を支えることで応援していきます。

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的としておりません。正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の情報に基づいて生じた障害や損害について、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。